

平成29年度

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター

活動報告

特定非営利活動法人
かまくら地域介護支援機構

1. はじめに

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター（以下サポートセンターという）は、平成19年度から鎌倉市との協働事業としての「高齢者生活支援サービスの調整機関の検討委員会」の検討、その後高齢者生活支援を担うサポーター養成講座、開設準備のための試行等を経て、平成25年5月より鎌倉市の委託事業として「鎌倉市高齢者生活支援サポート事業」を受託し、平成25年7月1日に台在宅福祉サービスセンター内に開設された。高齢者が地域の中で安心して暮らしていただけることを目的にして、サポーター養成講座を受講した市民によるサポート活動を続け、**平成30年7月に6年目を迎える**。この報告書は平成29年4月1日から30年3月31日までのサポートセンターの活動を報告するものである。

2. 平成29年度の活動について

平成29年度利用者登録数は97名（前年度は91名）で、平成30年3月末の実際の利用者数は54名（前年度は50名）であった。途中で施設入所や転居、入院などにより、人数に変動がある。また、登録サポーターは152名（前年度134名）でサポート活動を行っている。なお年間支援件数は**720**件、支援回数は**1890**回、活動時間は**3028**時間である。

毎月のサポーター会議と、鎌倉市との合同会議で利用者状況の把握や改善点の検討を行って共有し、利用者が安心して自宅で毎日が過ごせるように、そしてサポーターが活動しやすいように話し合いを重ねている。昨年度に引き続き今年度もサポーター会議を地域別（5地区）で開催し、各地域の地域包括支援センターの担当者を招き、サポートセンターの活動への理解と連携をより深める機会とした。参加した方からは、サポーターが利用者やその家族との信頼関係を構築し、その結果、利用者の笑顔や生活の改善につながっていること、高齢になっても暮らしやすい地域づくりの担い手になっているのではないかとの感想を得ている。

なお、登録サポーターのスキルアップを目的とした研修会を年2回開催、毎回多数のサポーターが参加し資質の向上に努めている。また年2回、情報紙「おげんきですか通信」を発行している。サポート活動の報告や利用者の声、スキルアップ講座の感想などを掲載し、サポートセンターの状況を市民に向けて発信している。

3. 利用者数や受付状況、活動事例

1) 利用者一覧表

29年4月1日～30年3月31日

地域	利用人数	性別		年代				家族形態			介護認定			
		男性	女性	60代	70代	80代	90代	独居	配偶者同居	配偶者以外同居	認定なし	支援1	支援2	介護1
鎌倉	21	4	17	0	3	15	3	9	7	5	10	2	3	6
腰越	36	6	30	2	5	26	3	23	8	5	17	8	10	1
深沢	11	2	9	0	1	8	2	8	2	1	6	3	2	0
大船	20	2	18	0	6	11	3	10	7	3	5	7	4	4
玉縄	9	4	5	0	2	7	0	5	2	2	3	1	4	1
合計	97	18	79	2	17	67	11	55	26	16	41	21	23	12

1人暮らしの高齢者、家族と同居していても日中高齢者のみの世帯が増加傾向にある。高齢化が進む中で特に1人暮らしの高齢者は「腰が痛くてかがめない」「話し相手が欲しい」「ちょっとした手伝いがほしい」など、誰もが年を重ねる中で、今までできた事が少しずつ出来なくなり、生活に不安を感じている。利用者の生き方、考え方を尊重しながら自立支援、介護予防の視点に立って、継続した支援をすることが必要となる。外出支援もニーズが増え、心強い相談者としてサポートの役割を果たしている。また本人に寄り添いながら、本人のやる気を引き出すという大切な役割を担っている。最近ではサポートを継続していく中で、「頑張ってみます」と自立された方もいる。

利用者のニーズに対応するために、市内5地区にいつでも活動できるサポーターの存在が必要なので、支援の担い手としてのサポーターの養成は今後も重要と考えている。そして、生活支援サポートセンターでは、介護保険で対応できない家事支援や、困りごとを気楽に相談できる窓口として、地域包括支援センター等の関係機関と連携し、地域の助け合いの活動を広げて行きたい。

受付状況

29年4月1日～30年3月31日

月	新規電話受付		電話調整 件数	訪 問		同行訪問 件数	モニタリング訪問件数		
	件数	成 立		件数	成 立		担当者 会議等	サポーター 同行訪問	計
		不成立			不成立				
4	5	1	151	1	1	1	4	5	9
		4			0				
5	7	2	123	2	2	2	1	6	7
		5			0				
6	9	6	153	6	6	6	2	4	6
		3			0				
7	9	4	103	4	4	4	1	3	4
		5			0				
8	7	4	165	4	3	3	2	5	7
		3			1				
9	4	3	117	3	2	2	2	8	10
		1			1				
10	2	1	146	1	1	1	2	1	3
		1			0				
11	3	3	130	3	3	3	2	1	3
		0			0				
12	6	3	106	3	3	3	5	1	6
		3			0				
1	3	3	93	3	3	3	2	2	4
		0			0				
2	5	4	88	4	4	4	0	1	1
		1			0				
3	6	3	118	3	3	2	2	2	4
		3			0				
計	66	34	1493	37	35	34	25	39	64
		26			2				

介護保険では対応できない支援や、困ったことへの対応を気軽に相談できる当サポートセンターの仕組みへの理解が広がっている。生活支援サポーターが支援を続ける中で、利用者の身体状況の変化に気づき、公的サービスが必要だと思われる時は、居宅介護支援事業所のケアマネジャーにつなぐこともある。利用者が必要な時に必要なサービスが利用できるように、本人、家族の声を聞き取り、自分らしい自立した生活ができるようにコーディネートしている。利用者もサポーターが定期的に訪れることで、孤立感や不安が解消し安心して過ごしている。これからも信頼関係を大切に、市民が市民を支える「地域の助け合い」の良さを生かしながら、事業を展開していきたい。

2) 活動の内容 (年間の活動の中での代表的な事例)

支援内容	性別	年代	依頼内容	活動事例
趣味や生きがいの支援	女性	80代	若い頃から土いじりが好きで、畑仕事が生きがいになっている。かがむ姿勢が取れず思うようにできない。	季節ごとに野菜の苗を植えて収穫している。苗を植えるタイミングがあるので、やり方をききながら支援する。
	男性	80代	土いじりが好きだが、持病があり、腰が痛くてしゃがめない。一緒に手伝って貰いたい。	出来るところは無理をせず、お話をしながら一緒に作業をしている。励みになると楽しみにされている。
外出支援	女性	70代	ひとり暮らし。膝や腰に痛みがあり、通院に同行してほしい。	月2～3回自宅からタクシー利用。院内での付き添い、待ち時間では気持ちを受けとめ、お話を聞く。
	男性	80代	日中独居。坂道を重たい物を持つのがきつくなった。買い物を一緒に行って欲しい。	ゆっくりだがしっかりした足取りで歩く。店内にある“こだわりの品”を一緒に選び、出来るだけ自分でやりたいという気持ちを大事にし、会話を楽しんでいる
	女性	80代	杖を使いながら歩行している。遠方の友人宅まで行きたい。一緒に外出して欲しい。	段差に注意しながら、歩く速さに合わせて歩くようにする。
家事支援	女性	80代	ひとり暮らし。右手首骨折。掃除、買い物を手伝って欲しい。	完治までの短期支援。不便さを理解し、できないところを支援する。
	女性	80代	台所に立ち続けるのが辛い。調理の下ごしらえを手伝って欲しい。	食材を用途別に切り分け、下ごしらえをする。何気ない会話をすることで笑い声が絶えない。
	男性	80代	気持ちの落ち込みがあり気力がない。今まで一人で家事をしたことがなく、手伝って欲しい。	気力の低下がありやる気にならない。家事を少しずつ一緒におこなっていく。
話し相手	男性	80代	色々とお話したい。	話題は豊富。会話を楽しみにされ気分転換になるとのこと。サポーターと外出同行する事もある。
	女性	80代	外に出ることが少なく、話す機会が少ない。家族以外の人との時間を持ちたい。	介護にならないようにしたい。楽しい時間を過ごすように支援する

4. サポーターの活動状況

29年4月1日～30年3月31日

月項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	61	62	63	58	65	67	66	64	60	48	50	56	720
回数	157	175	167	149	172	191	175	165	152	122	127	138	1890
時間数	256	280	282	241	267	302	271	267	254	189	193	226	3028

5. 高齢者生活支援サポーター養成講座

鎌倉市に暮らしている高齢者が、安心して在宅生活を過ごすうえで必要な家事支援等の軽度なサービスを提供するために、必要な知識と技術を身に付けた「高齢者生活支援サポーター」として地域で活動に参加する人材の養成を目的として、定期的を開催している。サポーターを全市的に迎えることを目的に、講座の開催場所を4地区で行った。

	月 日	開催場所	受講者数		登録者数	
			男性	女性	男性	女性
1	5月24日(水) 5月31日(水)	腰越学習センター	3	9	1	5
2	8月22日(火) 8月29日(火)	生涯学習センター	2	4	1	4
3	11月22日(水) 11月29日(水)	大船学習センター	2	4	0	3
4	2月21日(水) 2月28日(水)	深沢学習センター	6	6	6	4
	合 計		13	23	8	16

6. コーディネーター養成講座

生活支援のサポートを希望する高齢者に、活動するサポーターの紹介やそのサポート内容を調整するコーディネーターは、活動を進める上で重要な役割を担っている。鎌倉市地域包括支援センターや民生委員と連携し、依頼者である高齢者にとってより良いサポートを提供することに努めている。また、高齢者の状況や介護保険制度、対人援助などを理解することも重要である。今年度は、サポート活動を円滑に行うために調整する役割を担うコーディネーターを養成する講座を開催した。

開催日	開催場所・講師	受講者数	
		男性	女性
10月7日(土) 10月14日(土)	鎌倉市社会福祉センター 講師：坂本文典氏・大坂慎介氏 他	1	5

7. そのほかの活動

1) 研修会の開催

① 第1回サポータースキルアップ講座 「新総合事業について」

日 時：29年9月1日(金) 13:30～15:10 場所：NPOセンター鎌倉

講 師：宮本英明 職員 (高齢者いきいき課)

参加者：サポーター40名、スタッフ6名

② 第2回サポータースキルアップ講座 パンフレット『おげんきですか』の理解を深めよう

日 時：29年3月2日(金) 13:30～15:00 NPOセンター鎌倉

講 師：生活支援サポートセンター コーディネーター (石井敦子、山本泰子)

参加者：サポーター28名、社協コーディネーター5名、包括支援センター3名、スタッフ6名

2) 会議

① 平成29年度 サポーター会議

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	7	12	2	7	休	1	6	10	1	5	2	2	11回
参加人数	17	16	24	28		46	14	13	15	31	20	42	266名

② 平成29年度 鎌倉市との合同会議

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	21	19	16	21	18	15	20	17	15	19	16	16	10回
参加人数			6	8	8	7	7	8	9	9	9	9	80名

③ 平成29年度 事務局会議

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	7	12	2	7	4	1	6	10	1	5	2	2	12回
参加人数	9	5	7	6	6	6	5	6	5	7	6	7	75名

3) 行事

① 新年会 30年1月5日(金) 13:30~15:00 深沢学習センター

参加者：サポーター25名 スタッフ6名

4) 広報活動

① 情報誌「おげんきですか通信」第7号及び第8号発行

② パンフレット「おげんきですか」改訂・印刷

③ 老人会、理事会への業務説明（平成29年5月）

7. 今後に向けて

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンターの主な業務は、利用者へのサポート活動の調整と市民や生活支援サポーターからの相談や関係機関との調整である。しかしながら時間外や休日にコーディネーターがそれぞれの携帯電話で対応する場合もあり、複雑化するマネジメント業務については今後の課題でもある。地域包括ケアを推進する中で、市民が市民を支える仕組みとして、サポートセンターの活動を多くの市民に理解していただくために、より一層の広報活動を続けていく必要があると考えている。

また、鎌倉市に暮らす高齢者が、日常生活を安心して過ごせるとともに、自分らしい生活を在宅で継続できるように、高齢者生活支援サポーターがその生活を見守り、介護予防や認知症の早期発見の観点からもその活動を支援していくことが重要である。

前年度に引き続きサポーター会議を各5地域で開催し、担当エリアの地域包括支援センターの職員（ケアマネジャー）が多数参加され、サポートセンターの活動について更なる理解を深めていただいた。次年度は、5行政区担当の生活支援コーディネーター（鎌倉市社協）とも緊密な連携を図り、居宅利用者の生活支援と、生活支援を支えるサポーターの活動を通して『地域包括ケアシステム』の一部分を担っていきたい。